

プロポーザルに関するよくある質問

審査会当日は何人まで出席できるか。

(答え)

- ・各社2名以内とします。

審査会でのプレゼンテーションは、パソコンやモニター等を使えるのか。

(答え)

- ・パソコンとモニターを用意する予定です。
- ・パソコンのOSはWindows 10で、プレゼンテーションのソフトは、PowerPoint 2016か、Acrobat Reader DCが利用可能です。
- ・審査会の円滑な進行のため、持ち込みパソコンの接続は不可とさせていただきます。
- ・パソコンのスペック上、メモリ消費の大きいファイルはレスポンスが悪くなる可能性もあるので、注意してください。
- ・県で用意するパソコンに有線・無線の通信手段は用意できません。
- ・データは事前に県に送付し、念のため、当日もCD-R等の物理媒体で持参してください。
- ・詳しくは、参加表明のあった事業者に、後日、お知らせします。

審査会でのプレゼンテーションを、パソコンやモニター等を使わず行って良いのか。

(答え)

- ・差し支えありません。

プレゼンテーション資料の形式等に指定はあるか。

(答え)

- ・A4版で作成し、ページ番号を振っていただければ、形式は自由です。
- ・資料の作り込みすぎは余計な負担になりますので、ポイントを押さえ、簡潔にまとめてください。資料の厚みや華美さによって評価を決めることはありません。

審査会当日にプレゼン資料の差替えや追加はできるか。

(答え)

- ・企画提案書の提出期限は令和8年（2026年）5月25日（月）正午としており、それ以降、提出資料の差替え、追加等はできません。
- ・審査会のプレゼンテーションも提出資料の内容を基に行っていただく必要があり、内容の変更や追加はできません。ただし、プレゼンテーションにおいて、
 - ①誤字脱字等の客観的な誤り等を修正すること
 - ②理解の助けのため、企画提案書に記載した内容のデモンストレーションや、アニメーションの設定等を行うこと
 - ③時間内での効率的なプレゼンテーションのために、適宜ページを飛ばして説明したり、内容を集約したスライドを準備して説明したりすることは差し支えありません。

プレゼンテーションの開始時間や順番は。

(答え)

- ・令和8年(2026年)6月2日(火)の午後開始を予定していますが、参加する事業者数に応じて変更する場合があります。
- ・詳しくは、参加表明のあった事業者に、後日、お知らせします。

プレゼンテーションの時間の長さは。

(答え)

- ・現在のところ、説明時間は15～20分程度、質疑応答5～10分程度を想定していますが、プロポーザルに参加する事業者数に応じて調整しますので、ご了承ください。
- ・詳しくは、参加表明のあった事業者に、後日、お知らせします。

プレゼンテーション時の集合時間は。

(答え)

- ・各社、プレゼンの5分から10分前を目処に、集合いただく予定です。
- ・詳しくは、参加表明のあった事業者に、後日、お知らせします。

参加表明後にキャンセルができるのか。

(答え)

- ・取下げ申請書を提出していただければキャンセル自体は可能ですが、参加表明の締切時点で、プレゼンテーションの順番や時間等、審査会のスケジュールを決めるため、その後のキャンセルは、審査会の円滑な実施に支障を来すとともに、参加する他の事業者にも迷惑がかかる可能性があります。
- ・したがって、参加の見込みが少ないのに、とりあえず参加表明だけすることは謹んでください。

業務実績に記載する実績は、熊本県からの受託実績に限るのか。

(答え)

- ・熊本県からの受託実績には限定しません。他の地方公共団体や国、公共法人等からの受託実績もあれば、記載してください。
- ・また、就職関連のPR業務は、国や地方自治体等の業務以外でも、該当があれば記載してください。